

予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 **新**内水面水産業災害対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課水産係 電話番号：058-272-1111 (内 2913)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 34,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	34,000	34,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和2年7月の豪雨災害の影響により、被災地域において大きな被害が発生しており、内水面水産物の安定供給の確保に大きな影響を及ぼしている。

これらの被災地域における水産業の速やかな復旧を図るためには、被災した水産業関連施設や資機材及び種苗の導入が必要となる。

(2) 事業内容

・内水面水産業災害対策事業

内水面水産業関連施設 (種苗生産施設、養殖施設、給排水施設等)、水産業を営むのに必要な資機材 (漁具、水中ポンプ、給餌機等)、養殖生産の再開に必要な種苗の導入等の災害復旧経費を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国 50/100、事業者 50/100
- ・県負担はなし

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	34,000	災害復旧事業に要する経費の補助
合計	34,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業・農村基本計画(平成 28 年度～令和 2 年度)

第 5 章 政策の方向性

2 売れるブランドづくり

(3) 鮎王国ぎふの復活(天然資源の増加)

第 6 章 主要品目別施策

(16) 淡水魚

(2) 国・他県の状況

農林水産省水産庁事業である浜の活力・成長促進交付金事業において、新たな災害復旧支援メニューが創設された。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

豪雨災害により被害を受けた養殖場の生産施設等の早期復旧、事業再開を図るための事業を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
災害復旧の件数	0 件 (R1)	(H)	(H)	(H)	4 件 (R2)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	被災した内水面水産業関連施設の復旧や養殖生産の再開に必要な支援を行う必要がある。
○	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	